



2016年度事業報告

公益財団法人 名古屋YWCA

名古屋市中区新栄町2丁目3番地

TEL: (052)961-7707 FAX: (052)961-7719

E-mail: office@nagoya-ywca.or.jp

＜事業の目的と概要＞

この法人は、キリスト教の基盤に立ち、女性及び青少年のリーダーシップを育て、持続可能な社会を創造し、すべての人にとっての正義と平和を実現することを目的とする。

(定款第3条、第4条より)

- (1) 女性及び青少年のリーダーシップを育成する事業
- (2) 個別相談等を通じて女性を支援する事業
- (3) 諸外国の言語及び文化を学習する機会を提供する事業
- (4) 日本語教師を養成する事業
- (5) 日本語学校を運営する事業
- (6) 不動産賃貸等事業
- (7) その他この法人の目的を達するために必要な事業

＜基本方針＞

キリスト教基盤に立ち、共に生きる平和な社会を実現する。

目 次

* 2016年度をふりかえって	3
I 女性及び青少年のリーダーシップを育成する事業	4
ボランティア事業	
1. 平和・人権・国際・環境等社会の課題についての学習及び普及啓発と人材養成事業	
2. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業	
3. 子どもや青少年の健全な心身の育成に資する事業	
4. ボランティア養成事業	
II 個別相談等を通じて女性を支援する事業	12
女性のための相談・支援事業	
III 諸外国の言語及び文化を学習する機会を提供する事業	16
1. 語学・教育事業	
2. 個別に配慮が必要な子どもを支援する事業	
IV 日本語教師を養成する事業	18
1. 日本語教師養成事業	
2. 日本に住む外国人の子どもを支援する事業	
3. 日本に住む外国人生活者を支援する事業	
V 日本語学校を運営する事業	21
日本語学校事業	
VI 不動産賃貸等事業	22
不動産賃貸事業	
VII その他この法人の目的を達するために必要な事業	23
■世界YWCA・日本YWCA他	
■事業の目的を達成するために以下の機関を置く	
評議員会 理事会 人事委員会 ファンドレイジング委員会	
広報・新聞委員会 会館管理委員会	
* 公益財団法人名古屋YWCA組織図	35

2016年度をふりかえって

2016年度は、凶らずも、4月14日に発生した熊本地震の被災者を支える活動からスタートすることとなりました。

現地には熊本YWCAが、また、熊本学園大学に勤務している会員の呼びかけもあり、日本YWCAが全国のYWCAに呼びかけた結果、受け入れ先となった福岡YWCAに多くの緊急支援物資が送られ、現地に届けられました。名古屋YWCAでは、特に女性や子どものための物資を送るとともに、募金活動や現地の物産品の販売などの支援活動を行いました。東日本大震災の発生後今日まで続けてきた支援活動の経験が生かされたかたちとなりましたが、長い歴史を通して培われてきたYWCAのしっかりした組織基盤があったからこそ速やかな対応が可能になったとの感を深くしました。

部会やグループによる支援や啓発活動も引き続き行われました。しかし、活動が大きく縮小しているということではありませんが、近年は担い手の減少が顕著になっており、新しいボランティアの方に加わっていただくことが急務となっています。

女性の精神面での支援を目的とした取り組みでは、名古屋市からの委託事業（DV被害者支援）が行政と当事者の信頼を得て拡大しました。また皆さまのご支援による無料カウンセリングの回数も、前年の約3倍とすることができました。

国際相互理解と国際交流に貢献する人材の養成を目的とする教育関連事業は、今年度も英会話クラス、日本語教師の養成及び日本語学校を柱に事業をすすめました。特に、これらの事業を基礎とした、学習に障がいのある子どもや外国籍の子どもを対象とする子ども学習支援は、専門教育を受けた講師やボランティアの働きにより、年を追うごとに拡大してきています。

YWCAは、イエス・キリストの生き方に倣い、特に、女性の視点から社会の課題に向き合ってきました。

キリスト教基盤・女性・人権という3つの旗を掲げ、「一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶ」(*) 平和な社会の実現のために、今後も努力して参りたいと存じます。

どうぞ、皆さま、2017年度も引き続きご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

(*) コリントの信徒への手紙 一 12章26節

事務局長 小宮 一子

I 女性及び青少年のリーダーシップを育成する事業

ボランティア事業



2016 夏名古屋 「いりゃあせツアー」



サイレントピースアクション



金城学院中学 YWCA ボランティア

1. 平和・人権・国際・環境等社会の課題についての学習及び普及啓発と人材養成事業

(1) 社会の課題解決のために働く人材を養成する事業

- ・名古屋YWCAが依拠する価値観を学び、社会の中で小さくされている存在に目を向けていくために、読書会や集会を開催し、クリスマスには高校生たちと共に音楽を通して基盤となる価値観に触れる機会を持った。
- ・現在この地域に暮らすムスリムの子どもたちに起きていることを知るための学習会を開催するとともに、モスクを訪問しムスリムの人々が大切にしている価値の一端を知る機会を持った。また、他団体と協働し性的少数者への偏見と権力者による暴力について学ぶ上映会を行った。
- ・憲法を知るための上映会の開催や、沖縄の基地の問題、「天皇制」の問題についての講演会を開催するとともに、サイレントピースアクションを行い平和な社会の実現を市民に訴えた。
- ・沖縄の基地問題を初めとし、様々な市民団体の呼びかけに応え、情報発信を行った。

【プログラム】

活動名	主催	ゲスト/講師	実施日	延参加人数
世界YWCA日を覚えてオキナワに思いを馳せて	ボランティアネットワーク部会	具志堅邦子	4/23	24
キリスト教について語り合おう 2016 『3.11以降とキリスト教』 読書会	キリスト教基盤部会		5/18 6/15 7/20 9/21 10/19 11/16 1/18	43名
テレビ・新聞では分からない消費税増税の問題点	青少年部会	石川恵悟	6/11	38名
サラ・クレシ好美さんとの交流会	平和・国際部会	サラ・クレシ好美	6/18	15名
『不思議なクニの憲法上映会』	女性部会		7/3	44名
YWCA-YMCA合同祈祷週集会	キリスト教基盤部会	村山盛芳	11/5	26名
クリスマスをと共に	キリスト教基盤部会	米田浩 熱田高校合唱部	12/10	45名
サイレント・ピースアクション	運営委員会		12/10	9名
天皇制問題を考える2. 11集会	平和・国際部会	中野麻美	2/11	36名
名古屋モスク訪問&ハラールランチ	平和・国際部会		3/11	17名

読書会 ・『エンデの遺言』 ・『日本会議とは何か』 ・『マイナンバー法』 ・『二十世紀』 ・DVD鑑賞：「慰安婦問題」	グループ小さい平和の権	/	4/21	33名
			6/16	
			7/21	
			9/15	
			10/20	
			11/17	
			12/22	
			1/19	
			2/16	

【他団体との協働・協力】

プログラム名	主催団体	担当	実施日	参加者延人数
安保法廃止、立憲・平和を求める あいちキャラバン サイレント・ピースアクション	安保法廃止、立憲・平和を 求めるあいちキャラバン	運営委員会	6/11	21名
「Call me kuchu」上映会	「Call me kuchu」上映会 実行委員会	女性部会	3/20	54名

(2)被災者支援事業

〔熊本地震〕

- ・4月14日に発生した熊本地震の被災者支援のために、女性と子どもたちを対象に緊急支援物資として衛生用品、紙おむつ、お菓子他12個口を受け入れ先である福岡YWCA（*注）に送るとともに、4月20日～5月31日までの間、支援募金を募った。
- ・秋のバザーで熊本の物産品を販売し、支援を訴えた。

（*注）日本YWCAの被災者支援活動として福岡YWCAを支援物資の受け入れ先とし、主に障がい者や高齢者の避難所となった熊本学園大学や熊本YWCAに届けられた。

〔東日本大震災〕

- ・3.11つながるプロジェクトの4つのチーム（2016夏「名古屋いりゃあせツアー」企画チーム、シンチ・ハートチーム、あるがままチーム、虹のかけはしチーム）の下、多様な活動を行った。
- ・2012年度から5回目となる保養プログラム、「2016夏 名古屋いりゃあせツアー」を、名古屋学院大学との共催、名古屋YMCAの協力により実施した。（公益財団法人日本YWCA助成対象事業）
- ・2011年6月から行っている、福島県新地町の3つの小学校を対象としたテレビ電話相談と現地出前ワークショップを行った。また、2月より新地町児童館で週2回、放課後の子どもたちのテレビ電話相談を行った。（平成28年度社会福祉振興助成事業）
- ・震災をきっかけに名古屋市周辺に避難してきた女性たちの語り合いの場として、「今、あなたの感じているままの想いを語る場」を、定期的に関催した。（愛知県被災者支援センター、あいち被災者支援協議会助成事業）
- ・東日本大震災を風化させないために、チャリティコンサートを企画・実施した。
- ・震災発生から6年経った現在も、仮設住宅での暮らしを余儀なくされている女性たちをニット製品の販売協力を通して支援する「ハート・ニットプロジェクト」に協力し、名古屋市内で行うイベントや秋のバザーで製品の販売を行った。また、秋のバザーでは岩手、宮城、福島の物産品を販売した。
- ・日本YWCAの行う被災者支援活動の一環である、保養のための住宅の提供と滞在者のサポートを行った。
- ・東海地域で被災者支援を行う他団体と協働した。

【プログラム】

活動名	主催	ゲスト／講師	実施日	参加者延人数
2016夏 「名古屋いりゃあせツアー」	2016夏 「名古屋いりゃあせツアー」 企画チーム		8/17～21	参加者 130名 スタッフ・ボランティア 192名

新地町出前プログラム	シンチ・ハート チーム (震災支援プロジェクト)	加藤佐紀子 赤澤ヒロ子 西山節子 馬場詩織 増井さとみ	11/8～9	参加者 78 名 実施者 5 名
虹のかけはしチャリティコンサートNo.12 「真夏の夜の JAZZ CONCERT」	虹のかけはしチーム (3・11 つながるプロジェクト)	中山静雄 クインテット &黒田敦司	7/22	71 名
虹のかけはしチャリティコンサートNo.13 「春を彩る名曲の花束」	虹のかけはしチーム (3・11 つながるプロジェクト)	サルヴァトーレ・ピエーデ イスカルツイ &石黒美有	3/26	65 名

【他団体との協働・協力】

プログラム名	主催団体	担当	実施日	参加者延人数
名東の日・区民祭り ハート・ニット販売【出店協力】	名東の日・区民まつり 実行委員会	3・11 つな がるプロジ ェクト	5/7	約 9000 名 YWCA から 6 名
ふるさとまつり芋煮会【協力】	震災・原発事故による 県外避難者自主グループ めぐり合いの会	3・11 つな がるプロジ ェクト	11/20	40 名 (名古屋 YWCA より 2 名参加)
東日本大震災犠牲者追悼式 【賛同】	東日本大震災犠牲者追悼式 あいち・なごや実行委員会	3・11 つな がるプロジ ェクト	3/11	約 2000 名 YWCA から 2 名
東日本大震災被災者語り継ぎの集 い【協力】	東日本大震災被災者 語り継ぎの集い	3・11 つな がるプロジ ェクト	3/18	50 名 YWCA から 1 名
アースデイ ハート・ニット販売	アースデイ名古屋 実行委員会	アースデイ 名古屋実行 委員会	5/5	YWCA より 2 名

【日常活動】

活動名	担当	回数	参加延人数
福島県新地町の 3 つの小学校 とのテレビ電話相談	シンチ・ハート・チーム (3・11 つながるプロジェクト)	53	101 名
福島県新地町児童館とのテレ ビ電話相談	シンチ・ハート・チーム (3・11 つながるプロジェクト)	38	68 名
今あなたの感じているままの 想いを語る場	あるがままチーム (3・11 つながるプロジェクト)	8	18 名 スタッフ 19 名
セカンドハウス	日本 YWCA	7	231 名

2. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業

(1) 視覚に障がいを持つ人の社会参加を促進する事業

視覚に障がいのある方が利用する「声の文庫」DAISY図書（*注1）の作成を始め、全国音訳ボランティアネットワークの4つのプロジェクトに参加し、視覚障がい者をはじめ、視覚障がい児、ディスレクシア（*注2）の子どもたちに利用されている。「中部盲導犬協会」の機関紙等の音訳と、点訳によるYWCAの催しの案内を行った。また、視覚に障がいがある方が美術鑑賞をすることがあたりまえのこととなるよう、鑑賞会を行うとともに、美術館主催の鑑賞会開催のために、地域の美術館への働きかけを行った。

（*注1）デジタル録音図書の国際標準規格

(※注2) 学習障がいの一環、知的能力及び一般的な理解能力などに特に異常がないにもかかわらず、文字の読み書き学習に著しい困難を抱える障がい。

【プログラム】

プログラム名	主催	実施日	延参加人数
森一さんの故郷を訪ねて・バスツアー	グループ アートな美	5/26	23名
「ルノアールの時代展」同行	グループ アートな美	7/7 7/30	23名
名古屋ボストン美術館 「俺たちの国芳・わたしの国貞」展同行	グループ アートな美	10/12	6名
ボストン美術館プログラムへの同行	グループ アートな美	11/16 11/29	8名

【他団体との協働・協力】

プログラム名	主催	担当	実施日	延参加人数
あいちトリエンナーレ	愛知県美術館	グループ アートな美	9/15 9/29	24名

【日常活動】

プログラム名	主催	回数	延参加人数
催し物案内点訳	点訳 グループ	3	12名
「声の文庫」、協力団体、個人依頼の録音 図書等作成	音声訳 グループ	21 タイトル	
勉強会	音声訳 グループ	5回	10名
クリスマスカード作成	音声訳 グループ	1回	5名
作業 (CD作成、DVD保存)	音声訳 グループ	2回	9名

(2)高齢者の福祉に資する事業

高齢者が自立して生きていくために日頃から社会の動きに関心を持ち共有する読書会や老後設計のための、「講座」を開催した。また、複数の施設見学や「自分ノート」を実際に書いてみる実践的な講座を開催した。

【プログラム】

プログラム名	主催	ゲスト/講師	実施日	延参加人数
老後設計 実践編『自分ノート』を書いてみましょう	セーフティーサポート グループ		5/16～ 3/13 計11回	78名
老後設計パートⅦ 「こころを養う」	セーフティーサポート グループ	田中至道 村木あゆ芽 小原昌代	9/3 9/10 9/22	実施者12名 参加者46名 合計58名
施設見学会	セーフティーサポート グループ		11/16 11/18 11/25 11/29	実施者延べ12名 参加者延べ22名 合計34名
読書会 「おひとりさまでも最後まで 在宅」	グループ おひとり様広場		5/27 6/24 7/22 8/26 9/23 10/28 11/25 12/16	125名

(3) 路上生活の人びとを支援する事業

名古屋地域の支援団体とつながり、毎週1回、路上生活をされている方々に食事を提供した。夏と春の長期休みには学生がボランティアやインターンとして参加し、貧困の問題に触れる機会となった。また、名古屋の地で20年以上続く「炊出し」活動に協力し、毎月第3火曜日に前日の「炊出し」で使用した食器、調理用具等の洗いや片付けを行い、次の「炊出し」へとつなげる活動を行った。

プログラム名	主催	回数	延参加人数
食事と生活用品・衣類の提供	グループ スープキッチン	37回	利用者 1125名 実施者 279名
NPO ささしま共生会「洗い」支援		12回	53名 YWCAより 46名

(4) 日本に住む外国人を支援する事業

名古屋YWCA日本語学校に学ぶ学生たちと日本語で交流する場として「おしゃべり広場」を週1回開催すると共に、名古屋大学留学生のためのサポート活動を行った。また、「日本語サロン」を開催し、外国人が日本語で母国のことを紹介する機会を提供するとともに、それぞれの国の文化を学ぶ機会を提供した。

【プログラム】

プログラム名	主催	ゲスト/講師	実施日	延参加人数
外国人が話す日本語サロン 「ムーミンとサンタクロースが住む森と湖の国：フィンランド」	グループ 国際交流会	リエボネン マリユット	5/21	参加者 18名 実施者 9名
外国人が話す日本語サロン 「あまり知られていないミャンマー」	グループ 国際交流会	アウン コミン	7/9	参加者 17名 実施者 7名
外国人が話す日本語サロン 「私のオーストラリア」祖母の時代から	グループ 国際交流会	オーウィー レニー	10/29	参加者 15名 実施者 8名
外国人が話す日本語サロン 「南米の自然の宝庫：ベネズエラ」	グループ 国際交流会	ピネロ アウレリオ	12/3	参加者 12名 実施者 6名
おりがみ講習会	グループ 国際交流会		8/24	参加者 44名 実施者 6名
名古屋大学バザー	グループ 国際交流会		4月、10月	27名
名古屋大学留学生登録サポート	グループ 国際交流会		4月、9月	45名

【日常活動】

活動名	担当	回数	参加者延人数
おしゃべり広場	グループ 国際交流会	38	525名 (実施 233 利用者 292)

【他団体との協働・協力】

プログラム名	主催団体	担当	実施日	参加者延人数
ワールドコラボフェスタ、ブース 出展	ワールドコラボフェスタ 実行委員会	運営委員会	10/23	305

(5)ひとり親(母)家庭を支援する事業

日々の課題を抱え、生き延びることで精いっぱいシングルマザーたちが、分断され、孤立し、情報からも遠ざかっている中で、学び、楽しみ、つながることを目的に当事者も加わり、フェスティバルを開催した。

【プログラム】

プログラム名	主催	ゲスト/講師	実施日	延参加人数
Reborn (ひとり親家庭の母と子のフェスティバル)	女性部会	杉本貴代栄 須藤八千代	1/29	43名

3. 子どもや青少年の健全な心身の育成に資する事業

若い世代が中心となり、企画・実施した「沖縄スタディツアー」での経験を通して知った沖縄の抱える問題や平和について、自らの想いを伝える「報告会」や、サイレントピースアクションを行った。沖縄スタディツアーを広く知ってもらうために、「アースデイ名古屋」にブースを出展した。

【プログラム】

プログラム名	主催	ゲスト/講師	実施日	延参加人数
沖縄スタディツアー	青少年部会	金井 創	9/17~19	21名
第2回沖縄スタディツアー報告会	青少年部会		3/5	6名
サイレントピースアクション「あやまちを省みる」	青少年部会		8/15	15名

【他団体との協働・協力】

プログラム名	主催団体	担当	実施日	
アースデイブース出展	アースデイ名古屋実行委員会	青少年部会	5/4 5/5	Y W C A より2名

4. ボランティア養成事業

- ・健全な心身を保持するために、コーラスや社交ダンス、からだところどころにあらわれる問題に向き合うワークショップの機会を提供した。
- ・名古屋YWCAがよって立つところを学び、共に生きる社会を実現していくために、旧約聖書に学ぶと共に、世代間交流を図る機会を提供した。
- ・ボランティア自らが主体となって、円滑な活動のための調整、市民運動団体との連携、活動資金づくりなどを行った。

【プログラム】

プログラム名	主催	実施日	参加者延人数
世界YWCA日 オキナワに思いを馳せて	ボランティアネットワーク部会	4/23	25名
Yワイ交流会	ボランティアネットワーク部会	6/28	21名
18周年記念コンサート	グループ 歌の会ラルゴ	9/9	実施者20名 参加者80名
Body&Mind ワークショップ	グループ からころの会	4/5 6/7 9/6 11/1 2/7	40名

【日常活動】

活動名	担当	回数	参加者延人数
ダンス・楽器練習	グループ からころの会	25	50名
旧約聖書を読む会	グループ 旧約聖書を読む会	11	81名
社交ダンス	グループ つくしの会	47	416名
こすもすの会	グループ こすもすの会	2	31名
手芸	手芸グループ	44	258名
コーラス	グループ歌の会ラルゴ	27	378名

【委員会・部会・チーム 例会】

名称	在籍	回数	延出席者数
運営委員会	7	11	98名
キリスト基盤部会	3	6	21名
平和・国際部会	3	9	48名
ボランティアネットワーク部会	6	9	50名
青少年部会	5	7	29名
女性部会	8	9	60名
運営委員等候補者選考委員会	5	4	17名
3・11 つながるプロジェクト	13	6	58名
あるがままチーム (3・11 つながるプロジェクト)	3	8	19名
シンチ・ハート・チーム (3・11 つながるプロジェクト)	5	5	24名
虹のかけはしチーム (3・11 つながるプロジェクト)	13	3	28名
2016 夏「名古屋いりゃあせツアー企画チーム」 (3・11 つながるプロジェクト)	6	7	114名

【グループ活動 例会】

グループ名	在籍	回数	延出席人数
国際交流会	13	38	525
Spica	4	1	3
おひとり様広場	21	12	149
アートな美	15	11	95
音声訳グループ	13	11	98
点訳グループ	3	5	35
スープキッチン	10	2	7
セーフティサポート グループ	9	4	13
小さい平和の權	4	9	33
からころの会	3	25	50
手芸グループ	10	44	260
つくしの会	12	47	416
歌の会ラルゴ	16	27	378
旧約聖書を読む会	9	11	81
POP&ART	14	23	127
こすもすの会	4	2	31
ささしま共生会炊出し「洗い」	9	12	53

5. その他

(1)公益財団法人日本YWCA

- ・国に脱原発を求める意見広告協力をお願い
- ・「外国人住民基本法」の制定を求める国会請願書の署名
- ・アースガーデン（メールマガジン）への寄稿（生活と繋がっている憲法）

(2)インターン受け入れ

氏名	受け入れ先	受け入れ期間
岩田玲香	金城学院大学	8月1日～31日 (内10日間)
橋本知奈	金城学院大学	8月1日～31日 (内10日間)
坂部琴音	同朋大学	9月7日～16日 (内5日間)

(3)他団体との協働・協力・集会参加等

【賛同】

プログラム名	主催団体	担当	実施日	参加者延人数
安倍内閣の暴走を止めよう愛知集会・デモ	秘密保全法に反対する愛知の会	運営委員会	4/19	約600名
市民連合@愛知シンポジウム GO VOTE	市民連合@愛知	運営委員会	4/29	YWCAから3名
あいち平和映画祭	あいち平和映画祭実行委員会	運営委員会	5/15	
「辺野古新基地建設を許さない！つながろう愛知から 集会・ライブ・デモ	あいち沖縄会議	運営委員会	5/1	YWCAから3名
憲法施行69周年市民の集い 立憲・民主・平和と憲法	愛知憲法会議	運営委員会	5/3	YWCAから6名
「沖縄からはっきり見える基地・軍隊と人権」高里鈴代講演会	あいち沖縄会議 戦争をさせない 1000人委員会	運営委員会	7/31	約170名 YWCAから5名
安倍内閣の暴走を止めよう！10.19集会	安倍内閣の暴走を止めよう！共同行動実行委員会	運営委員会	10/19	約800名 YWCAから2名

【署名】

名称	呼びかけ団体	提出日	筆数
名古屋教会幼稚園 日照権署名			
「40年超えの老朽原発 高浜1・2号、美浜3号は廃炉に」	FoE Japan 他	11/5	32筆
第2回「子ども脱被ばく裁判への公正な審議と判決を求める署名」	子ども脱被ばく裁判の会	9/30	16筆
「イスラム教からカトリックに改宗されたイラン人難民の特別在留許可を求める署名」	カトリック名古屋難民移住移動者委員会	11/15	32筆
全国に被ばくを強い環境を汚染する「8000ベクレル/KG以下の汚染土を全国の公共事業で利用」方針に反対	国際NGO FOE Japan	9/2	14筆
山城博治さんたちの早期釈放を求める署名	山城博治さんたちの早期釈放を求める会	1/13	39筆

【声明等 賛同】

名称	呼びかけ団体
「元米兵による凶悪犯罪に対する抗議声明」	戦争をさせない1000人委員会・共同行動実行委員会
4.21「国の暴力を許さない！！レジスタンス大行動 警視庁・海上保安庁・国交省」	辺野古リレー
「国に脱原発を求める意見広告協力をお願い」	意見広告市民の会
「生物多様性の宝庫やんばるの森と住民の生活を守るために行動を！高江ヘリパッド建設中止を」緊急声明	国際NGO FOEjapan
「沖縄県・高江への機動隊派遣中止の申し入れ」	共同行動実行委員会
「ストップ改憲！新聞意見広告」	第9条の会



新地町小学校出前ワークショップ



熊本地震支援物資発送準備



名古屋YWCA クリスマス

Ⅱ 個別相談等を通じて女性を支援する事業 [定款第4条(2)]

女性のための相談・支援事業



18周年記念講演会講師の牧野雅子さん

17周年記念講演会は性暴力神話と加害者心理から見えてくる社会をテーマに開催した。刑事司法における性暴力理解と加害者が性暴力をどうとらえているかについて考える機会を得た。

今年度は、DVサポートグループひまわりが7月より名古屋市の委託事業となり、参加費・託児共に無料で実施することができ、参加人数も増えた。

カウンセリングは新規ケース数、総ケース数ともに減少傾向にある。県内の女性相談の充実に関連していると推測される。今後より差別化が必要と考える。

経済的に困窮しているDV被害者のための無料カウンセリング「パープルサポート」への寄付が拡大し、性暴力や虐待による被害も含め、12名の方に計61回のカウンセリングを提供することができた。

開催日	プログラム・事業名	講師名	回数	人数
4/23.24	私を大切にするココロのトレーニング	加藤	4	各9
9/10	人間関係がラクになるコミュニケーション 実践編	増井	4	各4
5/14	女性のための相談・支援スキルアップ講座プレ学習会 悩みを抱える女性によりそう相談・支援とは	執行照子	1	15
6/6～3/19	女性のための相談・支援スキルアップ講座	WCNY	12	延93

7/2～11/5	フェミニストカウンセリング実習講座	加藤	6	21
10/16～3/26	ファシリテーター養成講座	加藤、増井	6	各8
2/25.26	女性のための人間関係力アップ講座「つい、がんばる」私を抜け出すコツ	増井	6	各5
10/22.23	批判に対処するコツ	加藤	4	各6
3/18.19	考え方を考えるコツ	増井	4	各6
1/22	17周年記念講演会「性暴力神話のからくり」 *公権力における性暴力理解 *加害者は性暴力をどうとらえているか	牧野雅子 白石恵美子	1	53
5/25.6/22.7/2 7.9/28.10/26	DVを知る講座「ドメスティックバイオレンスとは」「DVが女性に与える影響」「子どもがDV家庭で育つということ」「DVから逃れるために」「DV被害からの回復に向けて」	WCNY	5	延37
12/10.1/28 2/25.3/25	DVからの回復ワークショップ「『安心』を感じよう」「こころをゆるめよう」「からだをゆるめよう」「私をケアしよう」	WCNY	4	延11
1/14	私と母の関係は～母娘関係の葛藤を紐解く～	加藤	1	5
4月～6月	夫・恋人からの暴力に悩む女性のためのサポートグループひまわり	WCNY	6	10
3/25	新1年生～3年生のための親子でセルフディフェンス講座	斎藤、森本	1	12
4月～3月	ケースカンファレンス	井上摩耶子	5	35
通年	女性のためのカウンセリング	WCNY		754
通年	「パープルサポート」 寄付によるDV・性暴力・虐待被害者のための無料カウンセリング	WCNY		61
通年	弁護士事務所等の付添	WCNY		3
通年	託児			15

*ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA=WCNY、フルネームは外部講師、名字のみは内部講師

【外部講師】

日程	タイトル	主催	回数	人数	担当
4/2	金城学院大学大学院 ハラスメント研修 ハラスメント防止に向けて	金城学院大学	1	15	増井
4/26	体験！セルフディフェンスを身につけよう	フェミニストカウンセリングW&M	1	20	増井
4/22 8/30	岐阜県千草寮職員研修 性暴力のPTSDについて・愛着障害について	岐阜県千草寮	2	18	加藤
5/12.19.26 9/1.8.15 12/8.15.22	リワーク支援プログラム アサーティブネス・トレーニング	名古屋市精神保健福祉センター	9	87	具
5/11.18.25. 6/8.22	自己主張ワークショップ	フレンテみえ	5	125	具
5/27	岐阜県女性相談員研修	岐阜県	1	7	加藤
6/1	お互いを尊重する関係でつきあおう ～恋する前に知っておきたい思春期の交際	犬山東部中学校 犬山市役所	1	100	具
6/3	見方が変わればココロも変わる！家族とわたし	名古屋市教育委員会	1	30	増井
6/11.18 7/2.9.16	自己尊重ワークショップ	フレンテみえ	5	125	具
6/25	愛知県男女共同参画人材育成セミナー 「ドメスティック・バイオレンス～女性と子どもたちの被害」	公益財団法人あいち男女共同参画財団	1	24	具
7/5	デートDV防止講演会 お互いを尊重する関係でつきあおう ～思春期の恋愛・交際・デートDV	蒲郡市役所 愛知県立蒲郡高校	1	240	具
7/9	みえ 子どもの未来を語る会	三重県人権センター	1	70	具

	子どもの心・からだ・性～子ども期から思春期の子どもたちに起きていること	三重県高等学校PTA連合 三重県教職員組合			
7/11	DVの現状と子どもへの影響～保健と医療の視点で支援を考える「母親と子どもを守るために私たちができること」	東三河地域周産期保健医療連携推進会議	1	24	具
7/12	自己尊重ワークショップ	愛知県断酒連合会 仲間の会あゆみ	1	6	加藤
7/13	DVを理解する講座	愛知県庁／愛知県立大府高等学校定時制	1	80	加藤
7/20	恋愛とデートDV～思春期の子どもたちに起きていること	松阪市役所	1	12	具
7/21	介護予防事業「健康塾」傾聴と信頼関係～コミュニケーションの幅を広げよう	東員町社会福祉協議会	1	50	具
7/23	愛知北農協大口支店「豊かな心の育て方～子どもを尊重するコミュニケーション」	愛知県北農協大口支店女性部	1	7	具
7/24 10/30 12/4 2/5	スキルアップ講座 LGBTセクシュアリティを考える／新しい相談室へ向けて／未成年の「望まない妊娠」相談への対応／トラウマへのアプローチ	フェミニストカウンセリングW&M	4	24	増井
9/11. 25. 10/2	母娘関係ワークショップ	フォーラムしずおか	3	75	加藤
9/22	親子でセルフディフェンス	知多市おかだ子ども会	2	28	増井他
9/29、10/6	人の言葉や仕草にふりまわされないコツ	豊川共生ネットみらい	2	27	増井
10/10	DVのこと知ってますか？～知る、気づく、防ぐ～	女性会議ウィットWIT	1	13	増井
10/13	女性のためのこころが軽くなる人間関係づくり講座	豊川共生ネットみらい	1	19	増井
10/17. 12/15	岐阜県DV被害者支援担当者専門研修会 DV被害者への支援と対応 事例を元に考える	岐阜県女性相談センター	2	140	増井
10/26	ドメスティックバイオレンスとは	岐阜県立千草寮	1	11	増井
10/31	お互いを尊重する関係でつきあおう～思春期の恋愛・交際・デートDV	愛知県立小坂井高等学校／豊川市役所	1	920	具
11/1	性差による差別の現状～それってDV？心とからだへの被害と影響～	イーブルなごや 名古屋市教育委員会	1	18	具
11/6	定年後の夫とうまく暮らしていく方法	フェミニストカウンセリングW&M	1	21	増井
11/2. 30 12/7. 14	相談者支援者のためのカウンセラー養成講座	ミューいしがせ ウィメンズハウスあゆみ	4	36	具他
11/10	半田市DVに関する講演会 DVが子どもに与える影響	半田市役所／愛知県	1	55	増井
11/10	犬山市男女共同参画市民会議「きらきら☆ユース出前講座」男女ともにお互いを尊重する関係を考えよう～恋する前に知っておきたい思春期の交際	犬山男女共同参画市民会議	1	205	具
11/16	自分らしく生きるために	半田市男女共同参画推進会議	1	9	増井
11/16. 22	金城学院大学 ハラスメント防止研修 教職員向け／相談員向け	金城学院大学	3	236	増井
11/18	DVが与える女性と子どもへの影響	岡崎市役所／愛知県	1	25	西山
11/17. 24	人づきあいがラクになる言いたいことの伝え方	知多市男女共同参画センターウィズ	3	34	増井
11/21	豊橋市デートDV防止啓発出前講座 お互いを尊重する関係でつきあおう～思春期の恋愛・交際・デートDV～	愛知県立豊橋高等学校／豊橋市役所	1	129	具
11/23	幸せオーラを味方につける～夫婦・恋人のカタチ講座	NPO共生ネットみらい／愛知県	1	11	加藤

11/28	恋愛と暴力～恋する二人に大切なこと、お互いを尊重する関係	愛知県立佐織工業高等学校／愛知県	1	580	具
11/29	津島市男女共同参画セミナー 夫婦ゲンカとDVの違いがわかりますか？	津島市役所	1	28	具
12/1	恋愛と暴力～恋する二人に大切なこと、お互いを尊重する関係	愛知県立刈谷東高等学校／愛知県	1	118	具
12/2. 20 1/19	岡崎市避難所における女性相談ボランティア養成講座 ①女性のための相談・支援～フェミニストカウンセリングとジェンダーの視点 ②女性問題の課題～DV, 子どもへの虐待とその影響 ③女性相談の課題～性暴力、セクハラ、ストーカー	岡崎市役所	2	74	具
12/5	蒲郡市デートDV防止講演会 お互いを尊重する関係でつきあおう～思春期の恋愛・交際・デートDV～	愛知県立三谷水産高等学校／愛知県	1	480	具
12/6	恋愛とデートDV～恋する2人に大切なこと、お互いを尊重する関係～	愛知県立犬山高校定時制／愛知県	1	584	具
12/13	恋愛とデートDV～恋する二人に大切なこと、お互いを尊重する関係～	愛知県立古知野高等学校定時制／愛知県	1	93	具
12/16	お互いを尊重する関係でつきあおう～思春期の恋愛・交際・デートDV～	名古屋市立商業高等学校／名古屋市教育委員会	1	318	具
12/21	恋愛とデートDV～恋する二人に大切なこと、お互いを尊重する関係～	愛知県立碧南高等学校／愛知県	1	100	具
1/21. 28 2/4	「私」の自己尊重とセルフディフェンス ①愛と暴力～好きなのになぜ？デートDV, DVはなぜ起きるの？②「私」の心とからだ性と「私」のからだは「私」のもの～③自己尊重で対人関係をパワーアップ～対等な関係でコミュニケーション	イーブルなごや 指定管理アイ・コニックグループ	3	60	具
1/26	お互いを尊重する関係でつきあおう～思春期の恋愛・交際・デートDV	愛知県庁 愛知県立瀬戸高等学校	1	34	具
2/3	刈谷市要保護者対策研修会「DV被害者への支援」DVの現状と子どもへの影響～身近な存在から、支援を考える～	愛知県庁 刈谷市役所次世代育成部子育て支援課	1	130	具
2/10	豊川市デートDV防止研修会 お互いを尊重する関係でつきあおう～思春期の恋愛・交際・デートDV～	豊川市役所 愛知県立豊川高等学校	1	237	具
2/14	豊橋市デートDV予防啓発出前講座 お互いを尊重する関係でつきあおう～思春期の恋愛・交際・デートDV～	豊橋市役所 愛知県立豊橋商業高校	1	280	具
2/17	名古屋市教育委員会デートDV出前講座 お互いを尊重する関係でつきあおう～思春期の恋愛・交際・デートDV～	名古屋市役所 名古屋市立西陵高等学校	1	200	具
2/21	DVについて理解を深める	公立西知多看護専門学校	1	30	近藤
2/11. 26	岡崎市嘱託女性相談員スキルアップ講座 相談ケースのスーパーバイズ	岡崎市役所	2	26	具
2/14. 28	モラルハラスメント防止講座～対策、対処、対応について	豊橋市役所市民協働推進課	2	32	増井
3/5	親子護身術	知多市男女共同参画センター“ウィズ”	1	23	増井
3/16	DV理解の出前講座	愛知県庁／愛知県立看護専門学校	1	80	加藤
3/8	職員研修 女性リーダーのためのアサーショ	愛知高速交通(株)	1	1	加藤

	ントレーニングと職場での人間関係				
3/15	自分らしく生きるために 心の傷からの回復を促すためのプログラム	半田市男女共同参画推進会議	1	28	増井

【委託事業】

4月-3月	豊川市女性悩み事相談	豊川市役所	22回		加藤
4月-3月	鈴鹿市女性悩み事相談スーパーバイズ	鈴鹿市役所	12回		増井
4月-3月	フェミニストカウンセリングW&M顧問	静岡市			増井
7月-3月	DVサポートグループひまわり	名古屋市役所	16回	延 67人	WCNY
9月-3月	DV親子支援プログラム (ポレポレサロン)	名古屋市役所	8回	延 30人	WCNY
4月-3月	一般社団法人社会的包括支援センター (よりそいホットライン)		24回	253 ケース	WCNY

【協力・共催】

10/8-10	教育訓練基礎コース「CRの基本を学ぶ」	日本フェミニストカウンセリング学会
8/27-29	フェミニストカウンセリングの技法を学ぶ～暴力被害からの回復支援へのアプローチ～	日本フェミニストカウンセリング学会
4月～3月	DV 被害者等のためのLomiLomi	延べ 17回
〃	DV 被害者等のためのリンパマッサージ (Ohana)	延べ 22回
4月～3月	DVサポートネット 愛知県・名古屋市との懇談、警察との懇談	DVサポートネット

【寄付】

通年	パープルサポート (DV 被害者への無料カウンセリング)	314,750 円
通年	女性のための相談・支援事業 指定寄付	161,800 円
通年	その他 (アフィリエイト)	6023 円
	合計	406,809 円

Ⅲ 諸外国の言語及び文化を学習する機会を提供する事業 [定款第 4 条(3)]

1. 語学・教育事業

語学クラスは、定期開催の昼間クラスを火～土曜日、夜間クラスを水・木曜日に開講した。最低クラス開講人数を確保するため、クラス統合や料金設定の異なるセミプライベートレッスンに移行した。その結果、クラス総数は減少したが全受講者数の減少はおさえられ、クラス平均受講者数は微増した。

定期開講クラスに対応できない社会人や小学生には、プライベートレッスンを計 165 回行い、短期講座・英語サロンは計 70 回開講した。中でも「英語で医療通訳講座入門編・初級編」は、英語学習者のほか看護師などの医療従事者が受講し、社会的要請の高い講座となった。

広報では、地域限定のタウン雑誌での情報案内や、新聞広告の回数の変更、ホームページやフェイスブックなど、時期を絞っての広報が功をなし、見学、問い合わせが増加した。

講師の世代交代に対応していくため、13 名の方と面接をし、新規に 6 名の講師と雇用契約を交わした。

【開催プログラム】

開催日	プログラム名	テーマ	講師名	回数	延人数
年間	クラス (32 クラス)	パンフレット参照	パンフレット参照		165 ※
年間	プライベートレッスン			165	165

年間	セミプライベートレッスン	インターネットで見る世界情勢の今上級/夜英会話中級 基礎から始める英会話 スペイン語上級Ⅱ期 フランス語上級6月～Ⅳ期	ティム・ゴードン 水谷廣子 世古 リセ ペリエ・フロラン 石垣裕子・渡辺敬子	163	452
年間	SAPLプライベートレッスン	英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語	石垣裕子、西村恵美子	128	128
年間	アレクサンダー・テクニーク個人レッスン		やつかりょうこ	49	56
4月～12月	短期講座	English through Yoga 英語でヨガを楽しもう	ブライオニー・オリア マリー・ランゲル	22	112
7/23, 11/26	短期講座	音まねレッスン集中	市川ちづる	2	14
9/16, 10/21, 11/19, 12/16, 3/17	短期講座	アレクサンダー・テクニークレッスン	黒田好美	5	24
8/2～5	短期講座	夏休み読書感想文教室	河合利政	7	55
10/22	英語サロン	An Anniversary and BREXIT:A Good Time to Visit London!	マイケル・クルーズ	1	30
10/27, 11/8, 10	短期講座	旅先で楽しむ日常会話	西村恵美子	5	5
1月～3月	短期講座	Yoga in English α 英語でヨガを楽しもう	マリー・ランゲル 溝口良子、濱元由紀	18	81
1/28, 2/4, 18, 25, 3/4, 18	短期講座	英語で医療通訳講座入門編	立花みどり	6	18
3/4, 18	短期講座	英語で医療通訳講座初級編	立花みどり	2	8
3/17	短期講座	音まねレッスン BASIC/SUPER トライアル	市川ちづる	2	6

※ 登録人数



短期講座「英語でヨガを楽しもう Yoga in English」



「音まねレッスン」クラス風景

2. 個別に配慮が必要な子どもを支援する事業

講演会を3回シリーズで開催し、延124名の参加があり、好評だった。支援者向けの勉強会では、中学校入学準備や、社会性を育むソーシャルスキルトレーニングをテーマにしたところ満席となり、関心の高さを伺い知ることができた。学習支援室もほぼ満席状態であった。当初予想していた以上に様々な面からの支援が必要とされているため、今後は保護者支援のプログラムや人材養成についても検討していきたい。

【開催プログラム】

開催日	プログラム名	テーマ	講師名	回数	延人数
年間	子ども支援	学習につまずきのある子どもの勉強室「タノシーム」	石垣裕子、大川 司	122	122
年間	子ども支援	「タノシーム」面談	石垣裕子、大川 司	5	5
年間	子ども支援	直樹先生の個別子ども発達相談室「パティオ」	山下直樹	2	3
12/19 1/30	子ども支援	発達障がいの子どもの支援するための勉強会	安住ゆう子、大川 司	2	59
7月9月 10月	子ども支援講演会	子どもの発達障がいを学ぶ	山下直樹	3	124

IV 日本語教師を養成する事業 【定款第4条(4)】

1. 日本語教師養成事業

今年度は、午後に教授法コース、午前に基礎コースを開講した。4月、10月、1月の募集を通じて受講生数は回復傾向が顕著となり、全体として予算達成に近づくことができた。しかしながら夜間コース受講生の募集は引き続き大きな課題である。国内の日本語学校の求人は増加傾向となり、プライベートレッスンの申し込みも堅調である。2017年度より日本語教師養成講座が文化庁届出制となり、当講座も「日本語教員の要件として適当と認められる日本語教育の研修」として認められ、届け出が受理された(2017年3月31日付)。

上記の本コース以外に、パワーポイント講座、日本語教育能力検定対策講座、教育実習実践コースや実習基礎コースなどを行った。また、地域のボランティア養成講座、大学への講師派遣を行った。



開講講演 坪井秀人教授



パワーポイント講座



日本語教師養成講座グループワーク

【開催プログラム】

開催日	プログラム名	回数	人数
1月～3月	日本語教師養成講座 春期無料説明会	8回	24
8月～9月	日本語教師養成講座 秋期無料説明会	5回	4
1月	日本語教師養成講座 1月期無料説明会	2回	6
	無料公開講座12月(有蘭智美名古屋学院大学講師)	1回	18
4月～通年	日本語教師養成講座 基礎コース	71回(計205時間)	29(前期) 17(後期)
4月～通年	日本語教師養成講座 教授法コース	79回(計216時間)	24(前期) 16(後期)
5月9日	開講講演「日本語文学再考」 講師：坪井秀人国際日本文化研究センター教授	1回(2時間)	69
4月～、10月	「みんなの日本語」I IIコース 講師：伏屋・海老原	10回(計30時間)	8(4月) 6(10月)
7月～	検定対策講座 講師：磯村・横井他	10回(20時間)	15～20
8月	教育実習コース(基礎) 講師：海老原	4回(10時間)	8
7～9月	検定の記述添削 オンライン講座	2回	延15
9月	検定の記述講座	1回	9

11月	日本語の教え方教室（プライベート）講師：江崎	1回	1
3月	JICA日本語ボランティアセミナー	1回	8
4月～	パワーポイント講座（8回）	8回	延べ77

【外部講師・委員】

開催日	プログラム名	講師名	人数
9月	みよし日本語サークル日本語ボランティア養成講座	横井	30
6～10月	各務原国際交流協会（5回）	伏屋	20～30
8月・10月	豊川国際交流協会（2回）	伏屋	30
12月11日	西尾市講座交流協会（1回）	横井	43
4月～9月	金城学院大学外国人留学生日本語クラス（前期15回）	磯村	3
6月～2月	愛知県日本語教育推進会議委員（計3回）	磯村	12
11月5日	福岡YWCA年少者指導者研修	西田	20

【修了生の進路】（2016年4月～2017年3月） 計 32名

プライベート	4件	学校・研修生 非常勤 専任	23件	海外	4件	進学	1件
（申し込み学習者国籍）		名古屋SKY日本語学校	3	南陽師範大学大学	1	名古屋大学大学院	1
		早稲田大学留学生センター	1	信陽師範大学	1		
		アイザック（技能実習生）	1	ITM日本語センター	2		
カタール	1	ユーゼックインターナショナル	1	（短期）			
中国	2	NSA日本語学校	1				
フィリピン	1	TOBUCO日本語学校	1				
		名古屋大学レジデンス	1				
		愛知国際学院	1				
		金城学院大学	3				
		三重大学（専任）	1				
		日本福祉大学（専任）	1				
		ITM日本語センター	1				
		ECC日本語学院	1				
		ラング	1				
			1				
		旭丘高校夜間部日本語指導員	1				
		愛知商工連盟（短期）	1				
		西尾市鋳物組合（短期）	1				
		HIDA海外技術者人材育成協会	1				
		天理教尾張旭協会（短期）	1				

*2016年度講師登録者11名 2004年度登録開始現在421名

【教育訓練給付制度対象講座】

同時受講コース（2015年10月再指定）	2015年10月～2018年9月
教授法コース（2015年10月指定）	2015年10月～2018年9月

【教育訓練給付制度利用者数推移】

	2006	2007	2009	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
教授法	13（夜）	0（昼）	7（夜）	2（昼）	13（夜）	不指定	不指定	2	3	0	3
同時	0	2	1	3	1	1	0	0	0	2	0
秋1年	*	*	*	*	*	*	*	0	0	0	*

【聴講申し込み者数推移】

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
人数（のべ）	9	14	30	21	53	43	28	29	49

2. 日本に住む外国人の子どもを支援する事業

外国人子ども日本語教室「ガリ勉クラブ」、(モリコロ基金助成活動)を通年で開催し、今年度から就労進学支援のための「みらいプロジェクト」も継続して開催した。今年度より、来日して間もない子ども達を対象にした日本語集中クラスとして学校のための日本語準備クラス(GPC)も開始し、事業化への準備とした。一方で、活動6年目となり、不就学や学齢超過生への対応が地域的にも大きな課題となっていることを踏まえ、地域調査を実行、「外国につながる子どものサポートブック 学齢超過生・過年度生の教育支援を考える」を発行した。

高校進学支援対象者は30名以上あり、受験者は全員合格を果たしたが諸事情で途中でやめてしまう子どももいたことは今後の課題となった。

【ガリ勉クラブ教室参加者、ボランティア数】

2016年度モリコロ基金助成活動、愛知県国際交流協会学習支援基金交付事業(準備部)

教室名	1期	2期	3期	4期	夏	冬	計
ガリ勉	30	29	33	*	34	34	160
ガリ勉作文部	4	5	8	*	*	*	17
ガリ勉漢字部	3	*	5	*	*	*	8
ガリ勉高校部	17	20	17	*	*	*	54
高校準備部	10	9	11	*	*	*	30
ボランティア登録	年間30	*	*	*	*	*	
ガリ勉家庭教師	年間18	*	*	*	*	*	18
GPC	5	12	10	7	*	*	34

*夏クラスではトヨタ工場のバス一日見学旅行を行った。

ガリ勉サポーター研修・進学相談会

日時	内容	講師	人数
6月4日	日本語能力試験の教え方(N3)	横井和子	49
7月16日	進学相談会	*	20
9月10日	日本語能力試験の教え方(N2)	横井和子	40
11月26日	日本語指導の工夫	講師：大蔵守久	53
10月22日	ワールドコラボフェスタ(バンビーナと共同参加)	*	200
3月25日	日本語音声指導の工夫	鹿島央	51

ガリ勉みらいプロジェクト(就労体験)協力企業

スターボックス ネットトヨタ中京 サブウェイ L&M株式会社 千種図書館
 トラスティ名古屋栄 星崎電気



【寄付】

募集期間	対象事業/プログラム	金額	件数
通年	ガリ勉クラブ	332,476円	53件(含バザーブックフェス寄付)



3. 日本に住む外国人生活者を支援する事業

外国人子育てサポート教室「バンビーナ」(モリコロ助成事業)では託児付日本語教室、親子研修会などを開催した。サポートメンバーは6人となり、今後はさらに推進力を持ったメンバーの養成が急がれる。サポーター研修ではフィンガーボードを使った教材づくりに取り組み、教室活動に生かした。日本語教室の参加者は減少傾向にあったが、イベントはほぼ満席となった。外国人ママ

が料理講師となった「バンビーナ・バンビーナ」では、日本人も一緒に参加できるイベントとし、子どもの言葉に関する悩みについて話し合い好評だった。

【バンビーナ 子育てと生活日本語教育】 2016年度モリコロ基金支援事業 1,000,000円

	人数
バンビーナ 外国人父母のための日本語教室 5～3月	4～7名 託児2～5
バンビーナ・ミュージック	20
バンビーナ・バンビーナ (国際料理と母語保持のお話)	29
デコザシ	21
バンビーナ春のお茶会	24
フィンガーボード研修会	19



ガリ勉クラブ進学説明会



ガリ勉クラブ教室活動



バンビーナ ミュージック

V 日本語学校を運営する事業 [定款第4条(5)]

日本語学校事業

■本科コース

春・秋学期とも前年ほぼ同様の学生数で4クラスを開講した。国籍はアジアを中心に16の国と地域出身の学生で、在留資格は家族滞在や定住者、日本人の配偶者など、日本に長期滞在する外国人が中心である。留学生は春学期は5名、秋学期は4名であった。

■別科コース

別科については年間延べ381名の学生が受講した。これは前年とほぼ同数である。夏の集中コースについては過去最高の人数で52名、19か国から学生を受け入れた。秋学期は前年より約30名の減となったものの、冬学期は再び学生が戻った。

年に2回開講する日本語能力試験対策(N2・N3)についても安定した受講者数であった。春のN3コースを受講し日本語能力試験に合格した学生が、秋コースで上のレベルのN2コースを受講するというパターンが定着した。



4月入学オリエンテーション



4月奨学生



5月 遠足

■日本語学校奨学金

春学期は、中国、ボリビア、オーストラリアの学生各1名、合計3名に、4月から9月まで給付した。秋学期奨学生はベトナム2名、中国、フィリピンの各1名ずつの計4名に給付することを決定したが、ベトナム人の1名が1月より休学となったため10月から12月までは4名に、1月から3月までは3名に給付した。1名につき毎月15,000円、期間は6か月間である。

1、2月の寄付キャンペーン中「日めくり日本語学校」と題した動画を facebook に投稿した。約2か月に亘り、ほぼ毎日、本科コースの学生が日本語とその学生の母語で「好きな言葉」などを語り、リーチ数が延べ約9,500となるなど好評を得た。日本語学校奨学金基金への寄付件数、金額増につながった。



7月 スピーチコンテスト



8月飾り寿司作り体験(夏期集中コース)



12月 交流パーティー

■本科コース

コース名	学期	期 間	時間数	クラス数	学生数	国籍
本科一年課程	春	2016年4月～9月	400	4	35	15
	秋	2016年10月～2017年3月	400	4	36	15

【プログラム】

学 期		行 事
春学期	4月1日	春期コース入学オリエンテーション・クラス分け試験
	4月20日	春期奨学金授与式
	5月20日	遠足(愛知県陶磁器資料館)
	7月15日	スピーチコンテスト
	8月1日～31日	夏休み
	9月20日～23日	期末試験
	9月29日	秋期コース卒業・修了式
	9月30日～10月10日	秋休み
秋学期	10月11日	秋期コース入学オリエンテーション・クラス分け試験
	10月20日	秋期奨学金授与式
	12月9日	健康診断
	12月11日	交流パーティー
	12月22日～1月5日	冬休み
	3月6日～10日	期末試験
	3月17日	春期コース卒業・修了式

■別科コース

学期	コース名	期 間	時間数	クラス数	学生数	合計	国籍
春	別科 午前	2016年4月～7月	69	6	49	80	23
	別科 午後		69	4	31		
	能力試験対策	4月～6月	20	2	17	17	8
	入門	6月～7月	16	1	11	11	7
夏	夏期集中	7月～8月	69	5	52	52	19
秋	別科 午前	9月～12月	69	7	52	80	27
	別科 午後		69	3	27		
	能力試験対策	9月～11月	20	2	22	22	14
	入門	11月	16	2	19	19	11
冬	別科 午前	2016年1月～3月	69	6	60	90	31
	別科 午後		69	3	28		
	入門	3月	16	1	10	10	9

■寄付

募集期間	対象事業/プログラム	金額	件数
通年	日本語学校奨学金基金	314,337 円	個人 35 件、団体 2 件、YWCA バザー 1 件

VI 不動産賃貸等事業 [定款第 4 条(6)]

不動産賃貸事業

- ・この事業の主な目的である公益目的事業に対するみなし寄付は、前年と同額を維持できた(約 1,200 万円)。
- ・昨年度に引き続き、5階 60 坪は空室のままである。幸いにも 1 月になってこれも長く空室であった 7 階 20 坪の入居が決まり、稼働率は 93% となった。しかし、2017 年度 5 月末をもって、新たに 5 階 60 坪のテナントの退去の申し出があったため、退去後のスペースを 120 坪にまとめることを前提に速やかに誘致活動に取り組んだ結果、複数の内覧や照会があったが、成約には至らなかった。
- ・名古屋駅周辺へのオフィスビルの集積と、栄地区、特に大津通り中心の商業ビルの集積により、YWCA 周辺地域の立地上の優位性は相対的に低下しており、今後もこの傾向は続くことが予想される。また、築後 28 年が経過したビルの商品的価値の低下も無視できない。しかし、稼働率の高さから分かるように、YWCA ビルへのアクセスの良さは大きな強みとなっている。今後も賃料についての柔軟な対応をアピールしつつ、会館管理委員会と協働でビルの環境整備に努め、積極的な誘致活動を進める所存である。

VII その他 この法人の目的を達するために必要な事業 [定款第 4 条(7)]

■ファンドレイジング委員会

(1)ファンドレイジング委員会

- 1) Fan Fun バスツアー vol. 1
「太田実神父と巡るキリシタン史跡の旅」11月22日(火) 参加24名
名古屋市内、一宮、扶桑、可児、美濃加茂のキリシタン史跡を巡る旅。
カトリック名古屋教区の太田実神父に同行を依頼し、解説をしていただいた。
- 2) ワールド・コラボ・フェスタ 2016
名古屋・栄、オアシス 21 で開催される(公財)愛知県国際交流協会が主催するイベントに参加した。
10月22日(土) ガリ勉クラブ、バンビーナが担当
10月23日(日) 運営委員会が担当
- 3) ファン活応援団(職員有志で結成 メンバー: 下方、岩田、西田)
 - ・寄付者名簿作成
 - ・名古屋 YWCA 会員の魅力掲載小冊子「会員になると いいこと BOOK」を作成
 - ・facebook 勉強会 ①職員向け ②会員向け
 - ・BOOK フェス 2017 年 3 月 12 日(日) 10:00~15:00
新しい寄付の仕組みとして提案。YWCA を知らない層を呼ぶことも目的とした。
① 古本市 ② 1 day 文学カフェ ③ ビブリアバトル ④ 聞書の部屋(音声訳の体験)
参加者としては 40 代が多く、収益も目標の 10 万円を達成した。
 - ・お花畑部
名古屋 YWCA ビル 1 階のプランターで花を育てる。
街の景観、名古屋 YWCA のイメージ向上のための活動である。
 - ・「ドネイションランチ」

プロの料理人を招き、食事を提供。参加した人は、定価以上の金額を支払い、その定価との差額を寄付するしくみ。仕組み作りと、料理人に渡すドネイションランチの説明パンフレットは作成したが、実際の開催までには至らなかった

※ファン活応援団の今後

ファン活応援団は、a. 名古屋YWCAのファンを増やす b. Yの活動の応援団 を通し、人と寄付が名古屋YWCAに集まる仕組みを作ることを目的に活動期間を2017年3月までの1年と定め職員有志3名で行ってきた。1年間の活動を通しファン活団結成当初のほぼ目標は達成した。

活動の引き継ぎ先（ファンドレイジング委員会、広報委員会で協議の結果）

- ・バスツアー等のファンドレイジング目的のイベント → 拡大理事会
- ・寄付キャンペーン → 広報委員会
- ・ブース出展 → 広報委員会から各事業部に呼び掛ける
(昨年度出展した「アースデイ」は不祥事が発覚したため、次年度は出展しない)
- ・ファン活から提案したプログラム
BOOKフェス→広報委員会（実行委員会を立ち上げる）
ドネイションランチ、お花畑部→広報委員会
特に、BOOKフェスについては、年1回の開催を定例化させたいと考えている。

■ファンドレイジング委員会は理事会の決議を受け、今年度をもって休会とする。

財政についての取り組みは、理事、運営委員長、総務部の委員長、各事業部の責任職員を含む合同会議で行う予定である。社会との関係性を構築することについては広報を強化する。

(2) バザー実行委員会

◇協力団体・企業等

(団体・企業)

I CAN、株式会社愛農流通センター、アサヒ飲料販売株式会社、イワジン真珠有限会社、有限会社えいこく屋紅茶店、株式会社オザキ、オリーブショップ (MO-YA-CO)、カゴメ株式会社名古屋支店、鹿島建設株式会社中部支店、鹿島建物総合管理株式会社、有限会社かみや、有限会社 キスラ、有限会社くらしを耕す会、さくら着物工房、猿投温泉・金泉の湯、専門学校トライデント、株式会社中部朝日広告、晁隆房、東洋紡不動産株式会社名古屋営業所、徳川美術館、トヨタ自動車株式会社 (トヨタ博物館)、トーヨーベンディング株式会社、名古屋ボストン美術館、名古屋シネマテーク、ネパリ・バザーロ、株式会社ノリタケカンパニーリミテッド、株式会社ハヤカワカンパニー、NPO法人ひょうたんカフェ、富士ゼロックス愛知株式会社、フジパングループ本社、株式会社船橋オーディオセンター、プラザデンタルクリニック、有限会社ブルーデル、古川美術館・分館爲三郎記念館、ヘアー&メイクポアソンレヴール、松坂屋美術館、株式会社万年堂菓舗、宗次ホール、株式会社名演会館 名演小劇場、名都美術館、メナード美術館、高浜市やきもの里かわら美術館、豊興業株式会社、わっぱ企業組合、ヤマザキマザック美術館、株式会社 mizkan 名古屋支店、おちゃや、天白ワークス

(個人)

池田富代、大村貴子、小嶋勝子、クリスティン・マクダモット

■日時：2016年10月7日 (金) 10:00~15:00 晴天

■2016年度秋のバザーの目的

- ・熊本地震被災者支援のために
- ・東日本大震災被災者支援のために
- ・日本語学校奨学金のために
- ・「外国人子ども日本語教室」「外国人子育てサポート教室」のために
- ・DV被害者支援のために
- ・平和・青少年・女性・福祉・国際交流などの地域社会に貢献する活動のために

■体制 (総務・販売・食堂)

実行委員長：永山峯子

担当部門代表

総務：長縄光子
 食堂：長橋美保
 催し物（リサイクル衣料を含む）：永山峯子
 職員：下方、和田

●報告

- ①入場者数：(働きの人含む) 497名
 ②収支差額 ※11月9日現在 カッコ内は目標額
 総務 21万(20万)
 食堂 37.5万(25万)
 販売 53.3万(35万) 合計 111.8万(80万)

■広報・新聞委員会

(1)新聞委員会

名古屋YWCAの活動を幅広く知ってもらうため、またYWCAの会員の情報の共有のために、2ヶ月に一度A4版8頁の機関紙を発行し、1回につき約450の個人・団体に発送した。

また、幅広い読者に向けての情報発信のため、「温故知新」などの新しい企画を考えた。

◇機関紙 広告協力企業等

愛知国際病院、内河・雑賀・近藤法律事務所、司法書士事務所ひらら、プラザデンタルクリニック、ヘアー&メイクポアソンレヴール

◇機関紙配布先

会員・会友、賛助会員、各市YWCA、関係団体、クラス生徒・講師、講座・プログラム参加者

発行月	記事内容			
	1・2面	3・4面	5・6面	7・8面
4・5月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・第42回天皇制問題を考える2.11集会「建国記念の日になぜ天皇制を考える？」講師：岡野八千代(秦野康子) ・運営委員長挨拶(吉澤道子) ・2015年度全体集会報告 ・会費納入のお願い ・サラ・クレシ好美さんとの交流会(日高伴子) 	<ul style="list-style-type: none"> ・3・11つながるプロジェクト 活動について(脇田純子) ・グループ紹介「つくしの会」(横山潤一) ・2014年度運営委員 ・聖書に聞く(草地大作) ・教えてMIHOちゃん 	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋YWCAの温故知新「マザーズ・カレッジの巻(永山峰子)」 ・WCNY ・語学・教育部 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学校 ・日本語教育セミナー ・ガリ勉通信 ・からしだね(風間千秋) ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・新入会員 ・賛助員、寄付者 ・委員会メンバー募集 ・寄付のお願い
6・7月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・問われている民主主義！(内河恵一) ・3・11つながるプロジェクト いりやあせツアーへの協力のおお願い(蓮尾陽子) ・世界YWCA日を 	<ul style="list-style-type: none"> ・3・11つながるプロジェクト 虹のかけはしチャリティコンサート報告(坂井文子) ・いりやあせツアー、熊本地震への寄付者 ・島田麗子さんを偲んで(諏訪昭子) / 湯口恵さんを偲んで 	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋YWCAの温故知新「青少年活動の巻(夏目とよ子)」 ・WCNY ・語学・教育部 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学校 ・日本語教育セミナー ・ガリ勉通信 ・からしだね(伏屋由美) ・評議員会報告 ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・新入会員 ・賛助員、寄付者

	覚えて (中村紀子)	(中村紀子) ・聖書に聞く (草地大作) ・教えてMIHOちゃん		・寄付のお願い
8・9月号	・今月の聖句 ・子どもたちに愛情を伝える行為 (湧井規子) ・テレビ、新聞では分からない消費税増税の問題点 / 講師: 石川恵悟 (増井さとみ) ・起震車体験 (西田文乃)	・3・11つながるプロジェクト「あるがままチーム」(横井邦子) ・教えてMIHOちゃん ・秋のバザー予告 ・聖書に聞く (草地大作) ・あいちキャラバンに参加! (永山峰子)	・名古屋YWCAの温故知新「日本語学校の巻 (川瀬節子、鈴木ゆみ)」 ・WCNY ・語学・教育部	・日本語学校 ・日本語教育セミナー ・ガリ勉通信 ・からしだね (島田恵子) ・評議員会報告 ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・寄付者 ・夏期休館のお知らせ ・寄付のお願い
10・11月号	・今月の聖句 ・子どもたちがあしたを信じられますように (加藤佐紀子) ・3・11つながるプロジェクト「いりゃあせツアー報告」(古橋みちる)、虹のかけはしチャリティーコンサート報告 (無記名)	・グループ活動紹介の動画、できました! (広報委員会) ・YWCA、YMCA 合同祈祷週 予告 ・クリスマスのつどい 予告 ・聖書に聞く (草地大作) ・教えてMIHOちゃん	・名古屋YWCAの温故知新「国際交流会の巻 (坂井瑛子、飯野充子、長橋美保)」 ・WCNY ・語学・教育部	・日本語学校 ・日本語教育セミナー ・からしだね (三島郁子) ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・新入会員 ・賛助員、寄付者 ・運営委員長などの候補者推薦のお願い ・寄付のお願い
12・1月号	・今月の聖句 ・クリスマスメッセージ『対話』というクリスマスプレゼント! (島しづ子) ・くりすますのつどい よこく沖縄スタディツアー報告 (柘植みのり) ・YWCA・YMCA 合同祈祷週報告 (日高伴子)	・3・11つながるプロジェクト「シンチハートチーム/出前ワークショップ報告」(増井さとみ) ・ラルゴ2へのお誘い (宮治陽子) ・秋のバザー感謝報告 (永山峰子) ・教えてMIHOちゃん	・名古屋YWCAの温故知新「新会館建設の巻 (小谷充子、加藤栄子、佐野田鶴子、諏訪昭子 中村紀子、朽久保澤子) アンケート方式」 ・WCNY ・語学・教育部	・日本語学校 ・日本語教育セミナー ・ガリ勉通信 ・からしだね(大川 司) ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・新入会員 ・寄付者 ・冬期休館のお知らせ ・クリスマス寄付先 ・寄付のお願い
2・3月号	・今月の聖句 ・“女性”たちとの新たなつながりをめざして (加藤佐紀子) ・クリスマスとともに 報告 (村岡佐知子)	・3・11つながるプロジェクト「虹のかけはしチャリティーコンサート予告」(坂井文子) ・教えてMIHOちゃん ・BOOKフェス予告	・ガリ勉クラブサポーター研修 (無記名) ・全体集会にむけて (吉澤道子) ・WCNY ・語学・教育部	・日本語学校 ・日本語教育セミナー ・からしだね (岡本和夫) ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・新入会員 ・寄付者

	<ul style="list-style-type: none"> ・太田神父と巡るキリシタン史跡の旅（長谷川紀子） 	<ul style="list-style-type: none"> ・聖書に聞く（草地大作） ・2.11集会予告（吉澤道子） ・お花畑部 部員募集 		<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス寄付感謝報告 ・日本YWCA Y's Wonderful Women 賞 諏訪昭子さん受賞 ・寄付のお願い
--	--	---	--	---

(2) 広報委員会

- ・名古屋YWCAのオリジナルLINEスタンプ「きふっちの楽しい毎日」を制作。6月16日に発売開始。
- ・オリジナルボールペンを作成。バザーのスタンプラリーの景品に使用。
1本150円で販売。
- ・例年通り「活動紹介パンフレット」A4二つ折りを制作。バザーで配布した。



<無料法律相談>

日時：第3木曜日午後 回数：9回 相談件数：10件
 活動内容：内河・雑賀・近藤法律事務所の協力を得て、月1回3コマを実施した。

■会館管理委員会

多くの人が気持ちよく利用出来るよう、日常的な会館の維持・管理・運営を行った。

【修繕工事】

- ・ビッグスペース照明LED化工事
- ・305教室改修工事（LL機材撤去・アクティブラーニング用設備設置・照明LED化・床材）
- ・YWCAビル共有スペースLED化工事（第1期）
- ・消防設備改修工事
- ・YWCA部分Wi-Fi化工事

【その他】

- ・避難訓練及び防災会議（テナント参加）を実施した。
- ・愛知県より起震車を借り受け、起震車体験会を実施した。延べ420名の参加者があった。



消火訓練



起震車体験

会員・会友・賛助会員・寄付・助成金等

■会員・会友

◇2017年3月末 会員数 197人 会友数 14人

■賛助会員

◆法人 3社

鹿島建設株式会社中部支店、豊興業株式会社、鹿島建物総合管理株式会社中部営業所

◆個人 16人

鈴木綾子、湯口恵、鶴崎祥子、杵山逸子、谷川いづみ、馬上典久、小谷治郎、佐尾三保子、子安愛子、大橋玲子、磯井輝之、竹口公子、梅村雅英、井上摩耶子、武藤佐知子、小川郁子

■寄付

◆寄付金

(個人 YWCA会員含む)

青木信子、赤澤ヒロ子、安達正樹、荒川彩美、安藤豊子、飯野充子、伊勢田節子、磯村美保子、伊藤加代子、伊藤美穂、伊藤さなえ、池上昌子、池村かつ子、五十棲豊子、井上摩耶子、杵山逸子、伊藤礼子、稲葉佳子、猪澤徳美、今枝ミサ子、今村佳代子、猪村礼子、岩田えり子、岩田玲子、臼田治子、江崎啓子、岡田淳子、風間千秋、片山不二子、川瀬世津子、加藤佐紀子、加藤聖実、上村桂恵子、木全美奈、木村繁子、黒部紘子、國枝京子、栗山義久、河野登喜子、瀨瀬絢子、小谷充子、後藤尚子、小林繁夫、小林久子、小松友子、小宮一子、小山玲子、近藤眞由美、近藤八津子、近藤昭司、佐尾三保子、坂井瑛子、坂井文子、坂田昌子、酒井美智子、桜井康子、佐野田鶴子、七野嘉子、島内忠治、新海美佳、菅溪順子、鈴木しづ子、鈴木雅人、鈴木良子、諏訪昭子、鷺見幸美、高井芳江、田中政江、田中万寿、田中千穂、田口裕晃、谷川いづみ、高橋紀久子、高橋肆乃、高橋律子、立川希代子、田村敏江、手島千景、鶴崎祥子、朽久保滯子、豊田江美、長橋美保、中村貴久代、中村治子、中村寿子、中村紀子、仲村佳子、長江歩美、夏目満雄、名倉寿子、中根雅弘、永山峯子、長縄光子、西田文乃、丹羽咲江、野村千秋、橋爪典子、原 太千子、蓮尾陽子、濱島洋子、林 操枝、早川久美子、早川典子、阪野信子、廣瀬俊子、細井陽子、保科いづみ、堀尾純子、堀木和子、松川裕成、松田弘子、増井さとみ、松井かづ子、松本香奈子、宮内貞子、宮川光恵、宮垣奈保子、三宅ゆかり、宮治陽子、村岡佐知子、武藤佐知子、村上朋子、村木和子、馬上貴美子、森田登喜子、安田寛子、山瀧良一、山崎京子、山田由美子、山田照子、山田 均、湯口 恵、横井和子、横井邦子、横江順子、横澤生子、横山潤一、吉兼亜古、吉田牧子、若本美弥子、脇田純子、渡辺千枝子、匿名52名

(企業・団体)

アートな美、あいちキャラバン、イワジン真珠有限会社、音声訳グループ、カフェ“ヴィータ”、国際交流会、鹿島建設株式会社中部支店、鹿島建物総合管理株式会社中部支社、金城学院中学生徒会、金城大学文学部英文科同窓会「雅会」参加者一同、原発反対市民の会、税理士法人T&L、つくしの会、スクナの森、株式会社中部朝日広告、晁隆房、東洋紡不動産株式会社保険事業部名古屋営業所、日本キリスト教団各務原教会、日本キリスト教団鈴鹿教会、日本キリスト教団名古屋中央教会、日本キリスト教団中京教会、日本キリスト教団東海教会、日本キリスト教団名古屋東教会、日本キリスト教団南山教会、人形劇団ひらき座、株式会社ハヤカワカンパニー、富士ゼロックス愛知株式会社、株式会社船橋オーディオセンター、ポアソンレヴール、ぼらみみより情報局、株式会社豊興業株式会社、ラック接骨院

◆物品

【ボランティア事業】

寄附者名	対象事業／プログラム	内容
小野藤	ボランティア事業全体	

奥谷友希	ボランティア事業全体	
菅沢真理	〃	衣類
檜原直子	〃	〃
樋口能久	〃	
山下慶子	〃	
若色香織	〃	
匿名3名	〃	衣類・洗剤など
認定NPO法人ポパイ	スープキッチン	食品
認定NPO法人 セカンドハーベスト名古屋	〃	食品

※スープキッチン：路上生活者の支援グループ

■補助金・助成金

【ボランティア事業 助成金】

助成団体名	対象事業/プログラム	金額
社会福祉法人 中央共同募金会 独立行政法人 福祉医療機構	シンチハートプロジェクト	2,393,221 円
公益財団法人 日本YWCA	・名古屋いりゃあせツアー ・沖縄スタディーツアー	264,900 円
愛知県被災者支援センター	あるがままプロジェクト交流会（県外避難者）	23,381 円

【日本語教師養成事業 助成金】

助成団体名	対象事業/プログラム	金額
愛・地球博開催地域社会貢献基金 (モリコロ基金)	・外国人子ども日本語教室「ガリ勉クラブ」 ・外国人子育てサポート教室「バンビーナ」	2,500,000 円
愛知県国際交流協会 日本語教育学習支援事業助成金	外国人子ども日本語教室「ガリ勉クラブ」	240,000 円
東海テレビ国際基金	開講講演 日本語文学再考 (坪井秀人 日本文化研究センター大学教授)	100,000 円

【日本語学校事業 補助金】

補助金団体名	対象	金額
名古屋市	日本語学校学生 結核検診補助金	11,066 円

【協賛金】

凡人社	開講講演 日本語文学再考 (坪井秀人 日本文化研究センター大学教授)	30,000 円
-----	---------------------------------------	----------

世界YWCA・日本YWCA他

■世界YWCA

- 4月24日 世界YWCA日
10月第3週 世界YWCA非暴力週間
11月第1週 世界YMCA・世界YWCA合同祈禱週

■日本YWCA

- 5月20日 日本YWCA 会長会
5月21日～22日 日本YWCA 加盟YWCA中央委員会
5月22日～23日 日本YWCA 総幹事会
10月13日～16日 日本YWCA 幹事研修会
11月19日～20日 日本YWCA 加盟YWCA 全国会員総会
1月8日～9日 日本YWCA 総幹事会

他団体関連

■加盟団体

愛知県青少年団体連絡協議会、愛知県青少年育成県民会議、愛知県留学生交流推進協議会、防災のための愛知県ボランティア連絡会、名古屋市男女平等参画推進会議、公益財団法人愛知県国際交流協会、公益財団法人アジア保健研修所、公益財団法人名古屋YMCA、社会福祉法人名古屋キリスト教社会館、社会福祉法人さふらん会、名古屋キリスト教協議会、特定非営利活動法人名古屋NGOセンター、あいち沖縄会議、秘密法と共謀罪に反対する愛知の会、未来につながる・東海ネット、特定非営利活動法人日本フェミニストカウンセリング学会、性暴力禁止法をつくろうネットワーク、東海日本語ネットワーク、公益社団法人日本語教育学会、一般財団法人日本語教育振興協会、特定非営利活動法人JAFSA国際交流協議会

■役員等

- ・公益財団法人アジア保健研修所 評議員
- ・社会福祉法人名古屋キリスト教社会館 評議員
- ・社会福祉法人さふらん会 評議員
- ・名古屋キリスト教協議会 役員

会議等

■評議員会 任期 2015年6月9日～2019年6月8日

評議員 内河恵一、鈴木卓也、富澤 孝、夏目とよ子、羽佐田美千代、
宮内貞子、宮川佳三、宮治陽子、門田一美、湧井規子

開催日	報告事項	審議事項	人数
6月21日 定時	・2016年度4・5月主要事業報告	・2015年度事業報告案承認の件 ・2015年度決算案承認の件 ・2015年度定期提出書類案承認の件	8

		・2016年度全体集会報告の件	
3月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年度臨時評議員会報告 ・運営委員会報告 ・日本語教師養成事業報告 ・不動産賃貸事業報告 ・会館管理委員会報告 ・人事委員会報告 ・ファンドレイジング委員会報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧問弁護士事務所契約更新の件 ・顧問会計事務所契約更新の件 ・受付管理システムバージョンアップの提案の件 ・会員等の位置づけ及び会費に関する細則改定案の件 ・育児・介護休業に関する規程並びに就業規則改定案の件 ・事務局長の雇用契約更新の件 ・職員会からの提案の件 ・ファンドレイジング委員会からの提案の件 	10

■人事委員会

今年度は、主に以下の事案について理事会に報告・提案を行った。

- ・育児・介護休業に関する規程及び就業規則改定
- ・愛知県の最低賃金引き上げに伴うパートタイム労働者の賃金の改訂
- ・2017年度職員体制
- ・3・6協定の更新
- ・新職員の採用

■職員

総幹事（事務局長）	奥村（小宮）一子
幹事	ボランティア事業部責任者 松村 真理子
	女性のための相談・支援事業部責任者 岩田 えり子
	語学・教育事業部責任者 後藤 尚子
	日本語教師養成事業部責任者 羽生（磯村）美保子
	日本語学校事業部責任者 飯田（鈴木）ゆみ（2017.3月定年退職）
	不動産賃貸事業部責任者 奥村（小宮）一子
	日本語教師養成事業部、日本語学校事業部、会館管理 西田 文乃
	広報、総合受付 下方 夕子
	財務責任者、労務、総務 吉兼 亜古
	語学・教育事業部、会計 朴 亜紀子（2017.2月～）
幹事補	ボランティア事業部 河瀬 祐子（2016.5月退職）
	語学・教育事業部、会計 朴 亜紀子（2017.1月マデ）
	日本語教師養成事業部 和田 貴子
嘱託職員	日本語学校事業部 間宮 由貴江（2017.1月～）
非常勤	ボランティア事業部 松久 奈央（2017.2月退職）
	女性のための相談・支援事業部 井辰 幸江（2017.3月退職）
	日本語教師養成事業部 山口 尚子
	上村 桂恵子
	滝藤 英里
	長江 歩美
	山田 絵夢
	黒澤 真澄
	日本語学校事業部受付 間宮 由貴江（2016.12月マデ）
	河瀬 菜穂美
	新海 恵

総合受付

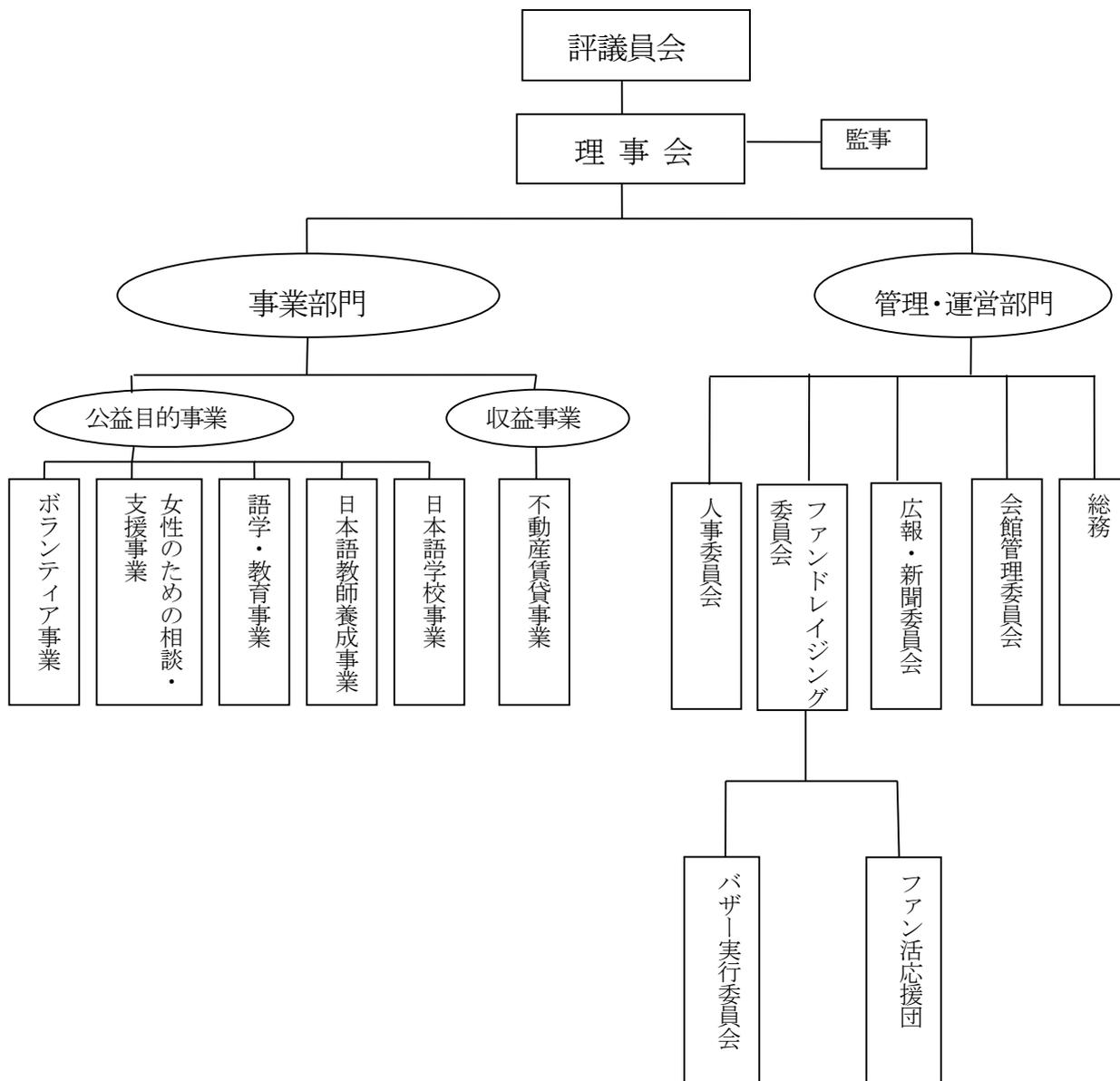
宮垣 奈保子
萩原 桜子 (2017.3月退職)
佐藤 幸子 (2016.9月退職)
吉田 多恵子
村岡 佐知子
青木 証子 (2016.4月退職)
山田 由美子
伊藤 嘉奈子

■日本語学校事業部講師

名古屋YWCA学院日本語学校 校長 (非常勤)
名古屋YWCA学院日本語学校 専任講師
名古屋YWCA学院日本語学校 専任講師

川瀬 節子
神谷 (谷山) 文子
久田 かおり

公益財団法人名古屋YWCA組織図



2017年5月発行